

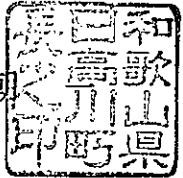


日川建第 488 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

日高川町長 笹 朝



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で国土交通省道路局長から依頼されました
「今後の道路行政についての意見・提案について」別添のとおり提出いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

過去、今年ほど道路整備の要望、道路財源の確保について、大運動を展開したことはございませんでした。

町民を挙げて再三に渡り、道路の必要性を訴えて行き、その要望に応じて、対応を各地で講じて頂きました。ご承知のとおり、「道路」は企業立地・商工振興・観光振興・農林漁業の振興・救急医療等、町民の将来のチャンスを保障する最低限の社会資本の整備であります。

今までは、道路の整備は都市部に重点を置き、地方は先を譲り、地方の道路整備は大きく遅れてきております。和歌山県を取り上げましても、国道県道の改良率が51.5%と全国ワースト2位の状態であり、全国平均に比べて25年間の遅れであります。和歌山県も、そうしたことで、今、まさに、この課題に真剣に取り組んでいるところでありますが、地方の幹線道路の整備、あるいは生活道路の整備、道路構造物の維持、更新、まだまだ道路財源が必要なときであります。

道路特定財源が、21年度から一般財源化すると閣議決定され、これからの道路整備の課題は、大きなものがあります。高速道路の供用率が51パーセント、全国平均72パーセントと比べましても、まだまだ和歌山県の高速道路は、空白地帯であります。空白地帯では、「人口が減少していき、税収が落ち込んでいく」と言った数値が顕著になっているところであります。企業誘致、観光振興、農林水産振興等には、道路が必要不可欠であります。

また、町内には、川辺インターチェンジがあり、地域生活の充実、地域経済の活性化を図るためにも、これを是非ともフルインター(政策インター)として計画していただけるように強く要望いたします。

本県の高速道路は、当初計画を上回るところの交通量の増加になっておりまして、休日などには、慢性的な渋滞が発生している現状にあることは、各位がご理解のところであります。

特に、近畿自動車道紀勢線の有田から御坊間につきましては、昨年の11月に南部から田辺間(暫定2車線)の供用開始により、交通量が増加していることから、週末やゴールデンウィークの観光利用時には、今まで以上に激しい交通渋滞を惹き起しているところであり、ここ最近、大事故も頻繁に発生しておりまして、4車線化工事の1日も早い現地着工に向けて、ご尽力賜りますように、併せてお願いいたします。

町内においても、町道が556路線ありますが、改良率が35.3%と低く、各地域それぞれから道路改修の要望陳情が、後を絶たない状況であります。我々も、行政を預かるものとして、道路が、災害時に寸断されることを想定するときが、真に必要な道路であり、紀伊半島を一周する高速道路の整備、或いは、未改修の県道や町道の整備に向けて、道路財源はまだまだ必要であります。

道路こそが社会資本整備に必要な最小限のものであります。道ができることによって、生活基盤ができ、町民が安住の地として安心して生活ができるものであります。

国におかれましては、遅れている地方の道路の重要性を十分認識していただき、道路特定財源の一般財源化後においても、今後も国民の期待に応えるべく、必要な道路整備や交通安全対策、維持管理が停滞することなく、着実に進められるよう特に、次の事項について特段の配慮を強く要望いたします。

- ① 高速道路から生活道路にいたる、地方が必要と判断する道路を着実に整備するための道路財源の安定的な確保
- ② 近畿自動車紀勢線の4車線化等、高規格幹線道路網の国の責任による整備

今後の道路行政についての意見・提案

- ③ 橋梁等の修繕・更新、耐震対策など安全・安心で計画的な道路管理のための財産の確保
- ④ 未改良率などを指標とした道路整備の遅れた地域への優先的な予算配分
- ⑤ 地方の実情に応じた道路整備を緊急かつ集中的に実施するための地方道路整備臨時交付金制度の維持・拡充、又はこれに代わる新たな制度の創設
- ⑥ 地方の道路整備、特に中山間地域の道路整備については、事後評価を視野に入れて投資効果を評価すること
- ⑦ 道路整備は、将来に禍根を残すことのないように、「国家100年の大計」に立って計画的かつ着実に進めること

尚、国交省においても、先般の国会で様々なご指摘を受けたところでありますが、その後、国交省には、異様な萎縮雰囲気を感じております。

例えば、毎年、住民が参加しているところの道路ふれあい月間(道普請)においてのグッズ関係の廃止、この配布されるグッズは、ボランティア活動をする住民にとって、非常に楽しみであって残念がっておりまして、是非とも復活していただきたい。

また各種会合において、パンフレット等の説明資料の割愛等、私どもにとっては、そのパンフレットが情報収集の源であり、非常に重宝がられている訳でありますから、情報提供には、財源は、惜しみなく充てていただきたい。以上で、道路行政全般について改善すべき点、要望や提案などの意見といたします。

○現状

我が日高川町は、和歌山県のほぼ中央部、日高川の中流域に位置し、平成17年5月1日に町村合併(旧川辺町、中津村、美山村)により誕生した町である。

温暖で緑豊かな美しい自然環境に恵まれた町で、「安珍・清姫」で有名な道成寺を始めとする文化財、歴史遺産、地域における伝統的な祭礼が伝承され、また、本町には日本一の生産量を誇る備長炭(H19、生産量、512トン)や、日本一の長さ1,646mの藤棚ロード、日本一楽しい、山彦のヤッホーポイントと、3つの日本一があります。これら豊かな自然環境と地域資源を活かした、活力ある地域づくりを展開しているところである。

然しながら、旧町村間を結ぶ県道・国道および町内の生活道路である町道の整備が未だ立ち遅れているため、一体的な振興施策の展開が出来ず、地域の活性化を図っていくためには、大変な障害となっている。

道路は、便利で快適な日常生活や活力ある産業活動を支えるとともに、人々の交流を促進する重要な基盤です。本町の道路網は、近畿自動車道紀勢線が、町の西部を縦貫し、川辺インターチェンジが設置されているほか、国道424号、主要県道御坊美山線、御坊中津線を中心に、国道1路線、県道12路線(主要県道6路線、一般県道6路線)、町道556路線によって構成されています。本町ではこれまで、関係機関と連携しながら道路整備を計画的に進めてきましたが、全体的に整備が遅れており、国、県道については、いまだに車両の対向が困難な箇所が多く、早期の改良が求められています。また町道においても、狭隘な箇所が多いほか、通行不能になると集落が孤立する路線もあり、その対策が急がれます。さらに、数多くの橋梁がありますが、その多くが老朽化しており、耐震補強や修繕が必要となっています。

○課題

こうした、魅力あふれる地域であるが、道路網の整備が遅れているため、魅力を活かしきれない状況であります。

日高川町にも、近年、局所的な豪雨の発生があり、将来、土砂災害により孤立が予測される地域間道路の整備促進を図り、特に主要県道御坊中津線、御坊美山線、国道424号等々の幹線道路は、生活に密着した路線であり、早期整備が必要である。また近い将来、発生すると言われている東南海、南海地震に備え、緊急輸送道路における橋梁の耐震補強や防災対策が重要課題である。さらに、町道を含み、現在、供用している道路について、橋梁等の道路構造物の高齢化や劣化が進む中、維持修繕の財源については非常に苦慮している。

また、地域生活の充実、地域経済の活性化を図るためには、日高川町内を通過している近畿自動車道紀勢線の吉備～御坊間の4車線化の早期整備は勿論のことであるが、川辺インターチェンジをフルインター化(政策インター)としての整備が喫緊の課題となっている。

このように、町民生活や経済・社会活動における自動車が担う役割の高い本町においては、道路の整備水準向上が喫緊の課題であり、町民の切なる願いでもある。国におかれては、地方の道路整備の重要性を十分認識していただき、本年5月に道路特定財源について、「本年の税制抜本改革時に廃止し、21年度から一般財源化する」と閣議決定され、必要な道路は着実に整備することとされたところであるが、日高川町には、緊急自動車も進入できない道路が未だ沢山あり、高齢化、少子化が進展している中で、道路整備に対する町民のニーズは依然として高いことを踏まえ、引続き道路整備の推進が協力を図られるように、財源の確保が必要である。

②-2 地域の目指すべき将来像

和歌山県日高川町

近畿自動車道紀勢線の整備など広域的な地域整備の動向や社会・経済情勢の変化、町民ニーズの動向等を総合的に勘案し、長期的・広域的な視点から、町の持続的发展に向けた一体的かつ均衡のとれた土地利用を推進します。

また、これに基づき、定住・移住の基盤となる快適な住宅・宅地の整備を進めるとともに、近畿自動車道紀勢線や国・県道の整備促進、町道の整備、公共交通機関の充実等による道路・交通ネットワークの整備、CATV 網を活用した情報ネットワークの整備を進め、定住と人・物・情報の交流、地域間の連携・一体化を促進する便利で安全な町の基盤づくりを進めます。

従って、広域的アクセスの一層の向上と町全体の発展可能性の拡大、地域間の連携強化に向け、近畿自動車紀勢線(有田から御坊間)の4車線化及び川辺インターチェンジのフルインターチェンジ化、国道424号、主要県道御坊美山線・御坊中津線をはじめとする国・県道の整備を関係機関に積極的に働きかけていくと共に、町道及び橋梁の整備・維持管理を計画的、効率的に推進します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

和歌山県日高川町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	近畿自動車道紀勢線(有田から御坊間)の4車線化及び川辺インターチェンジのフルインターチェンジ化の促進	定住と交流のための交通基盤の充実	地域生活の充実 地域経済の活性化
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	国道 424 号、主要県道御坊中津線、御坊美山線をはじめとする県道の整備の促進 町道及び橋梁の整備及び維持管理	便利で安全な町の基盤	計画的・効率的な維持管理